

現代のシンボル空間



□ 川越駅東口の広場

川越駅東口は、川越市と住宅都市整備公団が主体となった再開発事業により、あわせて3 haあまりが整備されている。このうち公園側では、三角形の彫刻的造形を組み合わせた石の広場と歩道を開放し、川越市側では駅との関係から、2階レベルのデッキと東西自由通路、線路側広場を配置している。駅前広場部分は、2階を地上、1階を川越の川と位置づけ、夜間照明も寒色系の川イメージの上に地上の暖色系のライトを組み合わせている。また、手すり、街路灯、サインボードなどには隠れりをはじめとした川越らしいデザイン・モチーフを盛り込み、排気管をモニュメントに仕立てた現代版の鐘「時世(ときよ)」とともに川越の玄関口を演出している。

